

試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。

平成28年度 しらかわ検定 3級 問題冊子

(問題数50問 試験時間50分)

注意事項

- 1 試験中は受験票、筆記用具、時計（通信機能のないもの）以外は全てかばん等にしまってください。
- 2 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。
- 3 問題冊子は、18ページあります。印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、手を挙げて係員にお知らせください。ただし、問題に関する質問にはお答えできません。
- 4 解答は、解答用紙の1から4の数字のうち、正答と思われる番号一つに丸を付けてください。

例えば【第1問】に対して「1」と解答する場合は、次の（例）のように解答用紙に丸を付けてください。

（例）

第1問	①	2	3	4
-----	---	---	---	---

- 5 解答用紙に正しく丸が付けられていない場合や二つ以上に丸が付いている場合は、不正解とします。
- 6 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめ退室していただきます。
- 7 不明な点がある場合や、体調不良やトイレでやむを得ず席を立つ場合は、手を挙げて係員にお知らせください。

【第1問】

国指定史跡の^{しもうさづかこふん}下総塚古墳は、その規模などから、どのような地位にあった人物の墓である可能性が高いと考えられていますか。

- ①^{おおきみ}大王 ②^{くにのみやつこ}国造 ③^{しょうぐん}将軍 ④^{だいまょう}大名

【第2問】

^{かまくら}鎌倉時代から^{むろまち}室町時代にかけて^{しらかわ}白河を支配していた一族の氏の名は何ですか。

- ①^{しらかわゆうき}白河結城氏 ②^{にわ}丹羽氏 ③^{あべ}阿部氏 ④^{ほんだ}本多氏

【第3問】

^{かんえい}寛永4年（1627）に10万石の^{ごくはん}藩として成立した^{しらかわはん}白河藩の初代^{はんしゅ}藩主は誰ですか。

- ①^{さかきばらただつぐ}榊原忠次 ②^{ながひで}丹羽長秀
③^{ながしげ}丹羽長重 ④^{ともみつ}結城朝光

【第4問】

^{えど}江戸時代に最も長く80年以上にわたって白河藩を治めた大名は何家ですか。

- ①^{まつだいら ひさまつ}松平（久松）家 ②^{がもう}蒲生家
③^{うえすぎ}上杉家 ④榊原家

【第5問】

白河藩最後の藩主となったのは誰ですか。

- ①結城よしちか義親 ②本多ただひら忠平
③松平さだなが定永 ④阿部まさきよ (しず)正 静

【第6問】

ぶんせい文政6年(1823)に「さんぼうりょうちがえ三方領地替」となった3つの藩は、白河藩と
おし忍藩(埼玉さいたまけんぎょうだし県行田市)と、あと一つはどれですか。

- ①桑名くわな藩(三重みえけん県桑名市) ②湯長谷ゆながや藩(福島ふくしまけん県いわき市)
③仙台せんだい藩(宮城みやぎけん県仙台市) ④大野おおの藩(福井ふくいけん県大野市)

【第7問】

めいじ明治22年(1889)に成立した白河しらかわまち町の当時の人口は何人でしたか。

- ①約1千人 ②約1万1千人
③約11万人 ④約110万人

【第8問】

白河で江戸時代から「いち市」や「せり」が盛んで、最盛期には1万頭以上が売
り買いされていた動物は何ですか。

- ①馬 ②鹿 ③豚 ④牛

【第9問】

明治20年(1887)に黒磯—郡山間の鉄道が開通したことにより、
白河から上野まで何時間で行けるようになりましたか。

- ①約1時間半 ②約2時間半
③約3時間半 ④約6時間半

【第10問】

大正・昭和期の白河について、間違っている記述はどれですか。

- ①白河と棚倉を結ぶ「白棚鉄道」が開通した
②昭和の初めの金融恐慌で、地元資本の4つの銀行のうち3つが解散した
③「白河県」が二本松県に、さらに福島県へと統合された
④勤労動員の白河の女学生が郡山空襲で多数犠牲となった

【第11問】

小峰城が、初めて築かれたのは何時代ですか。

- ①古墳時代 ②南北朝時代
③戦国時代 ④江戸時代

【第12問】

現在のJR白河駅と白河市立図書館の間にあった小峰城の門の名前は何ですか。

- ①道場門 ②前御門 ③太鼓門 ④桜之門

【第13問】

小峰城の三重櫓さんじゅうやぐらに使用されていた瓦かわらの枚数は何枚ですか。

- ①約3百枚 ②約1千枚
- ③約3千枚 ④約1万3千枚

【第14問】

小峰城の三重櫓の復元に使われた稲荷山いなりやまの杉には鉄砲の鉛玉が残っていましたが、これはいつの戦いで使われたものと考えられていますか。

- ①前九年の役ぜんくねん えき ②後三年の役ごさんねん
- ③摺上原の戦いすりあげはら ④戊辰戦争ぼしん

【第15問】

小峰城について正しい記述はどれですか。

- ①本丸の中心にあった本丸御殿ほんまるごてんの広さは7百畳じょう以上だったと考えられている
- ②これまで木造で忠実に復元された門はない
- ③三重櫓は絵図などの資料がなく、発掘調査のみを基もとに復元された
- ④付近に植えられていた植物の名前から、仙人掌之門さぼてんのもんと呼ばれた門があった

【第16問】

小峰城の石垣いしがきについて正しい記述はどれですか。

- ①石垣は明治期以降にほとんど壊され、現在は約2百メートルだけ残っている
- ②現在も残っている石垣は、江戸時代からほとんど修復されていない
- ③石材を斜めに積んだ落し積みの石垣には半同心円状はんどうしんえんじょうに見える部分がある
- ④主に白河・大信地域たいしんで産出される白河石しらかわいしは、加工しにくいため石垣には使われていない

【第17問】

小峰城について、間違っている記述はどれですか。

- ①発掘調査や地質調査の結果、本丸一帯は大きな谷地形たにちけいであることがわかった
- ②明治20年(1887)に皆既日食かいきにつしょくがあった際には、日食の観測場所となった
- ③松平定信さだのぶが約5年をかけて三の丸に作った庭園ていえんは、現在もそのまま残っている
- ④旧小峰城太鼓櫓きゅうこみねじょうたいこやぐらは、移築で原形と大きく変わったものの、当時の面影を伝えている

【第18問】

次のうち、白河藩主ではない人物は誰ですか。

- ①松平忠弘ただひろ
- ②前田利長まえだとしなが
- ③阿部正権まさのり
- ④松平直矩なおのり

【第19問】

白河の城下町の町名について、正しい記述はどれですか。

- ①「大工町」 白河藩成立前の絵図には「鉄砲町」とも記され、金物職人が住んでいたと考えられている
- ②「年貢町」 年貢を納める蔵があったことが由来と考えられている
- ③「中町」 大名が宿泊する本陣・脇本陣があり、城下全体の宿場の役割を果たしていた
- ④「愛宕町」 町の西端にある天神神社が、町名の由来になったと考えられている

【第20問】

旧奥州街道沿いにある商家などの町屋が、間口が狭く、奥行きのある短冊のような敷地になっているのはなぜですか。

- ①敵の侵入を防ぐため
- ②火事の際に、火が燃え広がるのを防ぐため
- ③江戸時代は間口の広さで税金がかけられていたため
- ④暑さ・寒さ対策のため

【第21問】

白河の歴史的建造物のうち、蔵の特徴として間違っている記述はどれですか。

- ①土や漆喰で塗り固め、耐火性能を高くしている
- ②火事の際に那須連峰からの西風による延焼を防ぐため、敷地の西側に建てられている
- ③通気性に優れ、家財や食料などを守るために建てられた
- ④人を閉じ込めるため、壁を厚くしている

【第22問】

白河市の歴史的風致形成建造物に指定されている旧脇本陣柳屋旅館建造物群について、間違っている記述はどれですか。

- ①新選組の土方歳三が戊辰戦争の際に宿泊した
- ②明治天皇が東北・北海道巡幸の際に休憩・宿泊した
- ③蔵座敷には書院があり、庭にはつるべ井戸が残されている
- ④柳屋旅館本館の建物は明治期に勸工場（百貨店）に改修された

【第23問】

白河の城下町に幅の狭い道路や、2本の道路が屈折して交差する「カギ型」と呼ばれる造りができたのはなぜですか。

- ①藩主の入れ替わりが激しく、まとまった城下町の整備ができなかったため
- ②敵が攻めてくるのを遅らせるため
- ③川だった場所を埋め立てて道路にしたため
- ④馬が速度を出せないようにして、事故を防ぐため

【第24問】

江戸時代に白河藩歴代藩主の菩提寺が置かれた通称「小南湖」には、誰の墓がありますか。

- ①結城祐広
- ②丹羽長重
- ③蒲生氏郷
- ④上杉景勝

【第25問】

白河に現在も残っている建造物のうち、明治・大正期以外に建てられたものはどれですか。

- ①白河ハリストス^{せいきょうかい}正教会
- ②明治記念館（旧西白河郡役所）
- ③白河市歴史^{みんぞく}民俗資料館
- ④J R白河駅舎

【第26問】

戊辰戦争の「白河^{しらかわぐち}口の戦い」について、間違っている記述はどれですか。

- ①土方歳三に代わって山^{やまぐちじろう}口^{さいとうはじめ}二郎（齋藤一）が新選組隊長を務めた
- ②約2千5百人の西軍が約7百人の東軍から城を奪った
- ③西軍・東軍あわせて約1千人が戦死したとされている
- ④白河藩士の子である新選組の^{おきたそうじ}沖田総司は病気のため参戦しなかった

【第27問】

幕^{ばくまつ}末から明治期にかけて活躍した市川^{いちかわほうせい}方静について、間違っている記述はどれですか。

- ①日本で初めてストロボを使ったカラーポートレートの撮影を始めた
- ②私塾「不^ふ求^{ぐあん}庵」を開き、天^{てんもん}文のほか茶^{さどう}道や謡^{ようきょく}曲なども幅広く教えた
- ③「方静儀」という測量器を完成させ、高い評価を得た
- ④明治20年（1887）の皆既日食でアメリカの大学の観測団とともに測量にあたった

【第28問】

南湖^{なんこ}を築造^{ちくぞう}したのは誰ですか。

- ① 藤原清衡^{ふじわらのきよひら} ② 松平定信
③ 一遍上人^{いっぺんしょうにん} ④ 能因法師^{のういんほうし}

【第29問】

南湖について、間違っている記述はどれですか。

- ① 武士や民衆^{みんしゅう}が共に楽しむことができる「士民共楽^{しみんきょうらく}」の理念で作られた
② 水田^{すいでん}に水を引き込むため池の役割を果たした
③ 江戸時代には異国船来航時の警備に備えて、操舟^{そうしゅう}や水泳の訓練が行われた
④ 人の立ち入りを制限するため、周囲には塀や柵^{へい さく}が設けられていた

【第30問】

南湖について、間違っている記述はどれですか。

- ① 明治期に埼玉県から取り寄せた吉野桜^{よしのざくら}の苗木^{なえぎ}500本が植栽された
② 明治末期以降、歌碑が建立され茶店が営まれるなど、行楽地としての整備が進んだ
③ 白河と棚倉を結ぶ「白棚鉄道」が開通したが、南湖の近くには駅が開設されなかった
④ 大正13年（1924）に国の史跡及び名勝^{しせき めいしょう}に指定された

【第31問】

南湖の名所である南湖じゅうななけい十七景に含まれないものはどれですか。

- ① 鏡かがみの山やま ② 共きょう楽らく亭てい
③ 松まつ虫むしの原はら ④ 翠すい楽らく苑えん

【第32問】

南湖について、正しい記述はどれですか。

- ① 工事は寛政かんせい12年(1800)に始まり、完成まで12年を要した
② 茶室「共楽亭」には、豪華で贅ぜい沢たくな鴨居かもいや敷居しきいが残されている
③ 松風亭しょうふうてい蘿月らげつ庵あんは、松尾芭蕉まつおばしょうの茶室を移転・復元したものである
④ 南湖の開さく碑には築造時の様子や美しい風景をたたえる言葉が記されている

【第33問】

南湖について、間違っている記述はどれですか。

- ① 自然の地形や風景を生かして作られた
② 小峰城の南側にあることが、名前の由来の一つとなっている
③ 小峰城の外堀の一部を改修して作られた
④ 中国の詩人・李白りはくが詠んだ詩の一節が、名前の由来の一つとなっている

【第34問】

南湖神社について正しい記述はどれですか。

- ① 白河関しらかわのせきと同じ時期に設置され、政治的・軍事的に重要な役割を果たした
- ② 牛頭天王ごずてんのうが御祭神ごさいじんとされている
- ③ 南湖神社なんこの創建そうけんには日本財界じゅうちんの重鎮しづさわえいいち・渋沢栄一じんりょくが尽力した
- ④ 社殿しゃでんの天井画てんけいがは茨城県いばらきけん出身やましたの女性イコン画家やました・山下りんが手掛けている

【第35問】

南湖について間違っている記述はどれですか。

- ① 明治40年(1907)に南湖湖畔新道の開通式を兼ねた「一周自転車競技大会」が開催された
- ② 江戸時代から現在に至るまで、「舟遊び」は禁じられている
- ③ 花見の名所として知られている
- ④ 平成7年(1995)に回遊式庭園かいゆうしきの翠楽苑が完成した

【第36問】

松平定信について、間違っている記述はどれですか。

- ① 徳川秀忠とくがわひでただの孫にあたる
- ② 17歳までに7千首わかの和歌を詠んだといわれている
- ③ 「天明の大飢饉てんめい だいききん」では他藩から米を買い入れるなどして凶作の被害を最小限に食い止めた
- ④ 幕府の老中首座ばくふ ろうじゅうしゅざとなり「寛政の改革」を実施した

【第37問】

白河関について、間違っている記述はどれですか。

- ① 5世紀中ごろには設置されたといわれ、人や物資の出入りを監視する
検問所の役割を果たした
- ② 平安時代になると歌枕として知られるようになった
- ③ 正確な場所は長い間不明だったが、松平定信が現在の場所にあったと定めた
- ④ 源義経は白河関を通ったが、関山・満願寺には参詣しなかったと伝えられている

【第38問】

白河の関を詠んだ歌ではないものはどれですか。

- ① 白河の 関路の桜 咲きにけり 東より来る 人の稀なる
(西行法師)
- ② 行く人を 弥陀の誓ひに 漏らさじと 名をこそとむれ 白河の関
(一遍上人)
- ③ 袖にみな 時雨を関の 山路かな (飯尾宗祇)
- ④ 吹く風を なこそその関と 思へども 道もせに散る 山桜かな
(源義家)

【第39問】

白河に残る伝説・記録のうち、正しい記述はどれですか。

- ①室町時代の^{れんがし}連歌師・飯尾宗祇が和歌を学ぶために白河を訪れた際、
^{しょみん}庶民に和歌の^{こころえ}心得があるのに驚き、そのまま白河に住んだという伝説
が残っている
- ②松尾芭蕉は関山に登山するなどして白河で多くの句を残したが、弟子の
^{そら}曾良の句は記録に残っていない
- ③松尾芭蕉が中町の商人の家に立ち寄ったという記録がある
- ④うたたねの森には、源義経が仮眠を取ったという伝説が残っている

【第40問】

奥州街道とその周辺地区について、間違っている記述はどれですか。

- ①江戸時代に整備された^{ごかいどう}五街道の一つで、厳密には江戸の^{にほんばし}日本橋から
^{しらかわしゆく}白河宿までを指す
- ②白河を通るルートは^{しらさかさかい}白坂境の^{みょうじん}明神から白河に入り、白河の城下を
通り、^{あぶくまがわ}阿武隈川を越えて仙台方面へ向かう
- ③^{ねだ}根田地区には^{かぶき}歌舞伎の「^{むすめどうじょうじ}娘道成寺」で名高い「^{あんちん}安珍」の墓がある
- ④白河藩内では、奥州街道沿いに宿場は整備されていなかった

【第41問】

会津街道とその周辺地区について間違っている記述はどれですか。

- ① 徳川家康が奥羽仕置の際、伊達政宗に整備を命じた
- ② 白河と会津を結び、佐渡金山の金の輸送などに使われた
- ③ 旧上小屋宿は本陣や旅籠などが置かれ、重要な宿場として栄えた
- ④ 明治維新の思想的指導者・吉田松陰は会津街道を歩いて会津へ向かった記録がある

【第42問】

会津街道とその周辺地区について、間違っている記述はどれですか。

- ① 縄文時代の遺跡である町屋遺跡からは北陸系や関東系など様々な土器が出土している
- ② 隈戸川の上流にある聖ヶ岩は高僧・徳一の弟子である聖坊から名づけられたといわれている
- ③ 「孤高の文士」と呼ばれた芥川賞作家の中山義秀は、大信地区の出身である
- ④ 権太倉山（標高976メートル）という名前は豊臣秀吉がつけたといわれている

【第43問】

棚倉街道とその周辺地区について、間違っている記述はどれですか。

- ① 表郷おもてごうでしか確認されていない希少植物きしょう「ビャッコイ」は、会津で採集された他の植物の標本ひょうほんと混同され、「白虎蘭」と名付けられた
- ② 建鉾山たてほこやま（標高403メートル）は、日本武尊やまとたけるのみことが東征とうせいの際に山頂に鉾を建て、神をまつたという伝説がある
- ③ 常在院じょうざいいんを開山した源翁和尚げんのうおしょうの木像もくぞうは、県の重要文化財に指定されている
- ④ 戊辰戦争では西軍が棚倉城を攻撃しなかったため、棚倉街道と周辺地区の住民が戦いに巻き込まれることはなかった

【第44問】

石川街道・水戸街道とその周辺地区について、正しい記述はどれですか。

- ① 白川城しらかわじょうは阿武隈川右岸の丘陵地きゅうりょうちを利用した山城やまじろで、「搦目城からめじょう」とも呼ばれている
- ② 白河舟田しらかわふなだ・本沼遺跡群もとぬまいせきぐんにある3つの古墳はすべて、全国的に珍しい上円下方墳じょうえんかほうふんである
- ③ 越後高田藩えちごたかだ（新潟県上越市にいがたけんじょうえつし）の飛領とびりょうを支配する陣屋じんやは、江戸時代を通して常に釜子かまのこに置かれていた
- ④ 釜子には越後高田から銘菓「おきな餅」が伝えられたが、武士や職人が移り住むことはなかった

【第45問】

白河^{ちようちん}提灯まつりの由来について、正しい記述はどれですか。

- ①寛永20年(1643)に丹羽^{みつしげ}光重^{にほんまつじんじゃ}が二本松^{せんぐう}神社を遷宮し、領民なら誰でも自由に^{さんばい}参拝できるようにしたのが始まりといわれている
- ②天正^{てんしょう}17年(1589)にあった二階堂^{にかいどう}氏と伊達政宗との戦で戦死した人の^{とむら}霊を吊ったのが始まりといわれている
- ③明暦^{めいれき}3年(1657)に本多^{ただよし}忠義^{みこし}が神輿^{ほうのう}を奉納したのが始まりといわれている
- ④久慈川^{くじがわ}を利用し米を運ぶ「^{うんせんけいかく}運船計画」の歴史^{もと}を基に、約30年前から始まった

【第46問】

白河提灯まつりについて、間違っている記述はどれですか。

- ①正式には「^{かしまじんじゃさいれいとぎよさい}鹿嶋神社祭礼渡御祭」という
- ②鹿嶋神社の氏子組織は現在、旧城下町を中心とした23町内にある
- ③^{おおもりかいづか}大森貝塚を発見したアメリカの動物学者モースが、白河に宿泊した際、提灯まつりを見ている
- ④毎年9月中旬の3日間開催される

【第47問】

白河提灯まつりの神輿の提灯行列について、正しい記述はどれですか。

- ①神輿が行列の先頭となり、その後せんだつかんとうちょうちんに先達竿灯提灯などが続く
- ②高張提灯たかはりちょうちんは、長さ10メートル前後たげざおの竹竿2本の先それぞれに提灯が付いていて、2本揃って上げ下げする
- ③先達竿灯提灯より短い竿もとかたちょうちんの元方提灯が、行列の最後を締めくくる
- ④各町世話人は行列の際、階級がわかるものを持ってはいけなとされている

【第48問】

白河だるまと白河だるま市について、間違っている記述はどれですか。

- ①中世ちゅうせいに開かれていた市が、現在の白河だるま市のルーツと考えられている
- ②現在の白河だるま市は、天神町・中町・本町もとまちを会場に毎年2月11日に開催されている
- ③白河だるまのまゆげは「鶴」を、ひげは「亀」をあらわしている
- ④白河だるまのデザインは江戸時代後期の画家・円山応挙まるやまおうきよが考えたといわれている

【第49問】

白河の酒造業しゅぞうぎょうについて、正しい記述はどれですか。

- ①江戸時代の記録から、白河の酒造業には300年以上の歴史があることがわかっている
- ②江戸時代の酒造業者は、米が取れる農村部に集中していた
- ③元禄時代げんろくの白河領内の酒造業者は10軒に満たなかった
- ④松平定信は庶民けんやくの倹約を徹底するため、酒造りを禁止した

【第50問】

白河の祭りと民俗行事に関して、正しい記述はどれですか。

- ①白河を中心とする福島県の県南地域に伝えられた念仏踊ねんぶつおどりを「じゃんがら」という
- ②「安珍歌念仏踊」は、根田地区の出身といわれている僧・安珍くようを供養する踊りである
- ③大竹の天道念仏おおたけ てんとうねんぶつは、戊辰戦争で戦死した人の霊を弔うために踊ったといわれている伝統の盆踊ぼんおどりである
- ④関辺のさんじもさせきべ踊おどりの「さんじもさ」は、「定信様」がなまったものといわれている

